

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】 専門演習 II		
担当者(Instructors)	橋 廣	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

## ■ 授業の目的と概要(Course purpose/outline)

専門演習Ⅰ・Ⅱを通じて、各学生が興味を持って研究できるテーマを見出し、卒業論文の作成について学習することを目的とする。研究テーマの内容は、人間のこころや行動について考える。例えば、教育現場の問題（いじめ、不登校、非行、暴力、発達障害等）、心の病の問題（うつ、自殺等）、社会の問題（ジェンダー、DV等）、自己の問題（自信のなさ、自己尊重感、自己概念等）、これらの領域を中心とする。研究テーマを探す方法としては図書館での本や論文の検索、インターネットでの検索等を行い資料の取り寄せが行えるようになる。

## ■ 授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	講義と演習形式で授業を行う。 専門演習Ⅱではアンケート・インタビュー等のデータを使う研究を小グループで行う。全体での講義をはさんで、グループで研究テーマの決定、論文の作成（問題、方法、結果、考察）へと進む。研究成果をパワーポイントにまとめ、最後に各グループが発表を行う。

## ■ 各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	講義 調査をするということ・構想を考える・先行研究を探す	1. データを使って論文を書くということ 2. 論文の構成 3. 目的、方法の書き方	<input type="checkbox"/>
第2回	各グループで研究を行う（1）テーマを決定し構想を考える	テーマを決め、どのような調査をするか考える	<input type="checkbox"/>
第3回	各グループで研究を行う（2）質問紙、インタビュー項目を考える	具体的な質問紙・インタビュー項目を作成する	<input type="checkbox"/>
第4回	各グループで研究を行う（3）調査の実施1	アンケート調査、インタビュー調査を実施する1	<input type="checkbox"/>
第5回	各グループで研究を行う（4）調査の実施2	アンケート調査、インタビュー調査を実施する2	<input type="checkbox"/>
第6回	講義 データ分析の仕方	データ分析と結果、考察の書き方を講義する	<input type="checkbox"/>
第7回	各グループで研究を行う（1）データ分析	各グループでデータの分析を実施する	<input type="checkbox"/>
第8回	各グループで研究を行う（2）データの分析と結果の作成	データの分析結果から結果を作成する	<input type="checkbox"/>
第9回	各グループで研究を行う（3）分析表、グラフ等の作成	結果を図や表を用いて見やすい形で表示する	<input type="checkbox"/>
第10回	各グループで研究を行う（4）考察	先行研究、調査結果を使って考察を書く	<input type="checkbox"/>
第11回	講義 発表の仕方	全体のまとめ方と分かりやすいプレゼンテーションについて講義する	<input type="checkbox"/>
第12回	グループで発表をまとめる（1）主要な結果の選択	グループでの発表をパワーポイントで作成する	<input type="checkbox"/>
第13回	グループで発表をまとめる（2）プレゼンを踏まえたまとめ	発表時間や聞き手への伝え方を考えて発表資料をまとめる	<input type="checkbox"/>
第14回	グループ発表と全体の講評	1. 各グループが発表する 2. 全体で振り返りを行う	<input type="checkbox"/>
第15回	4年生ゼミナール大会への参加	4年生が実施するゼミナール大会に参加する	<input type="checkbox"/>

## ■ 授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

シラバスには授業ごとの学習テーマが提示されている。各テーマに関する参考書、資料等が事前に示されるので、事前学習として授業までに予習をしてくること（2時間程度）。事後学習として、授業内で提示されたテーマのまとめについて2時間程度の学習をすること（2時間程度）。

度)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回、講義後に小レポートの課題があるが、それらは採点され次回の授業の冒頭で講評する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 2018人間健康DP2	テーマの設定、質問項目の作成、調査の実施、データ分析、論文作成、研究発表等、問題意識を持って積極的に課題に取り組むことができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	0%

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業内で適宜紹介する。	
2		
3		
4		
5		